

イチゴ栽培ベッドの可動・立体配置による 省力・省エネ生産システム

先端技術を活用した農林水産研究高度化事業（課題番号 18082, 平成 18 年度～20 年度）

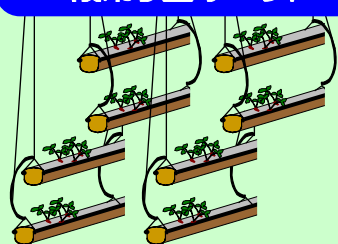
共同研究機関： 広島県立総合技術研究所（農業技術センター・西部工業技術センター）

国立大学法人高知大学・株式会社ダイコーテクノ

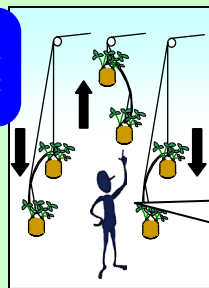
本システムは、ベッドを 2 段にして吊り上げ、ハウス空間の効率的な利用により、従来の **4 倍** の植え付け株数を可能とします。



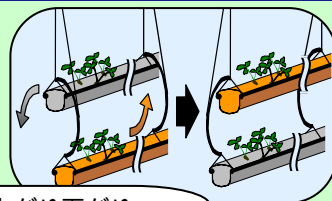
2段吊り上げベッド



昇降



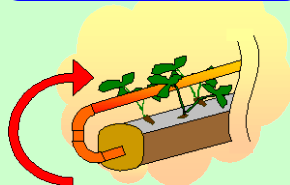
シーソー動作



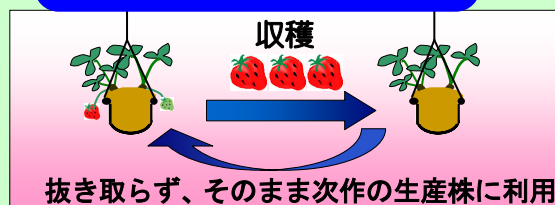
ベッドは交互に上がり下がり
2 段ベッドはシーソー動作
上昇したベッド下が作業スペース

ベッド局所加温

温湯循環



株据置栽培による省力化



収穫
抜き取らず、そのまま次作の生産株に利用

- ベッド数 4 倍 → ○3.5 倍増収
- 局所加温によるベッドだけの加温 → ○加温エネルギー 5 分の 1
- 「株据置栽培」技術との組み合わせ → ○省力化（300 時間短縮）
- 作業者に合わせたベッド高 → ○効率化、快適性

増収・省エネ・省力を可能とする新栽培システム